

「験震時報」投稿上の注意事項

- (1) 報文は原稿用紙に横がきではっきりと書き、当用漢字新かなづかいを用いる。句読点 . , は1字分あけ、数字はアラビア数字とする。記号 a と α と d 、 C と c 、 e と l と ρ 、 0 と o と o 、 r と γ 、 S と s 、 W と w 、 Z と z と 2 、などはまぎらわしいから特にはっきり書く。
- (2) 論文の長さは当分のあいだ付図を含めて刷上がり 10 ページ以内、ただし、付図は刷上がり合計 3 ページ以内とする。
- (3) 報文が論文の場合、その初めに欧文の題目および内容要約をつけ、図、写真および表の説明は欧文とする。報文が報告の場合は欧文の題目をつける。
- (4) 付図は濃いすみで、ていねいに描き、むだな余白のないようにする。図中の文字は縮めても、小さくなりすぎないように大きめに書く。注や説明はわく外に活字にくめるようにする。
- (5) 写真は鮮明なもので、変色やよごれのないものにかぎる。
- (6) 欧文題目、内容要約および原稿中の欧文は活字体でわかりやすくかく。欧文題目、内容要約は、できればタイプライターで打つ。

昭和32年7月5日印刷

昭和32年7月10日発行

編集兼 気 象 庁
発行者

東京都千代田区大手町一ノ七

印刷者 笠 井 朝 義

東京都港区芝南佐久間町一ノ五三

印刷所 株式 笠井出版印刷社
会社

東京都港区芝南佐久間町一ノ五三